

# ようかいちばしょう 八日市場小スタンダード

じどうよう  
児童用

## ①筆記用具(えんぴつ)は自分でけずって準備する。

- ・2Bのえんぴつ5~6本、赤青えんぴつを家でけずって準備してきてください。全部のえんぴつの先がおれたり、まるくなったりしたら、休み時間にけずりましょう。えんぴつはかざりのないものにしましょう。

→えんぴつがきちんとけずってあると、美しい字が書けます。

## ②机の上、机の中を整理せいとんする。

- ・机の上には必要なものだけを出し、必要のないものは机の中にしまいましょう。また、引き出しの中もせいとんし、必要なものがすぐに取り出せるようにしましよう。

→必要なものをすばやく準備できるようになり、学習がスムーズに進みます。

## ③次の授業の準備をしてから、休み時間にする。

- ・次の授業で使う教科書、ノート、筆箱を机の上に出してから休み時間にしましょう。

→授業が始またらすぐに学習に取り組むことができます。



## ④時間になったら遊びをやめて席につく。(チャイム着席)

- ・日直が、授業のはじめのあいさつの号令をかける前に席につきましょう。

→あわてずに席について、落ち着いて授業を始めることができます。

## ⑤授業のはじめ・おわりのあいさつをしっかりする。

- ・いすに正しい姿勢ですわり、日直の号令に合わせて、はっきりとした大きな声であいさつをしましょう。

→授業のはじめとおわりのあいさつをきちんとすると、気持ちがきりかわり、集中して勉強することができます。

## ⑥ いすに正しい姿勢ですわる。

- ・学習が始まつたら「グー・ペタ・ピン・サッ」の姿勢をしましよう。

グー (机とおなかの間にグーが一つ入る分くらいあける)

ペタ (足の裏をゆかペタッとつける)

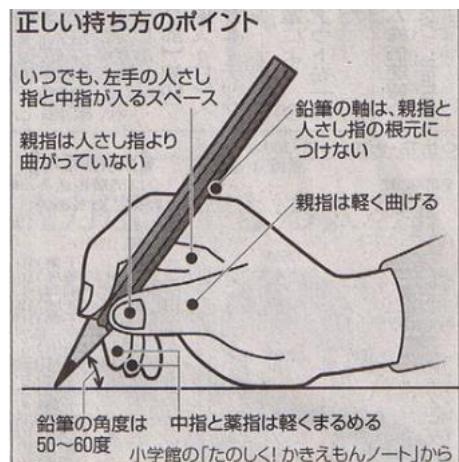
ピン (せすじをピンとしつかりとのばす)

サッ (ひざのうえにすばやく手をサッとおく)

→正しい姿勢ですわると、やる気が出て、健康でじょうぶな体をつくることができます。

## ⑦ えんぴつを正しくもつ。

→えんぴつを正しく持つと、美しい字が書け、たくさん書いてもつかれません。



## ⑧ 名前をよばれたら「はい」と返事する。

- ・相手に聞こえる声で返事をしましょう。

→元気よく返事をすると、やる気が出て、相手も気持ちが良いです。

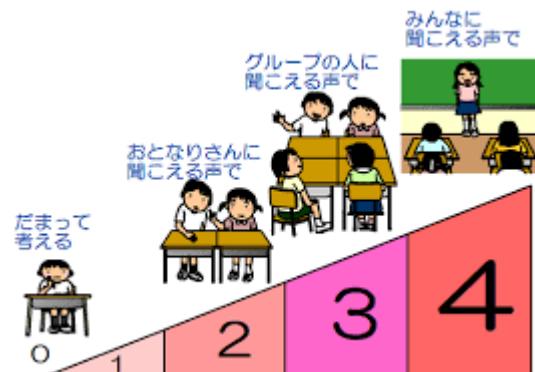
## ⑨ 友だちや先生の話を静かに最後まで聞く。

- ・話す人の方に目をむけましょう。とちゅうで口をはさまず、話の内容を理解しながら聞きましょう。

→人の話をよく聞くと、勉強がわかるようになります。自分の考えも深まります。

## ⑩ 学習の場面にあった声の大きさで話す。

→学習の場面に合った声の大きさで話すと、聞く人にとっても聞きやすく、話の内容もわかりやすくなります。



意識しなくともできるようにがんばろう！